

東北ブロック会女性委員会いわて大会講演会

建物再生、温故知新。古きを訪ねて、新しきを創る。

9月3日(土) 12:30開場 13:00開演 入場無料

会場：岩手県公会堂 26号室 定員：100名(先着順)

主催：(公社)日本建築士会連合会東北ブロック会女性委員会

後援：岩手県・(公社)日本建築士会連合会東北ブロック会

木構造の第一人者から見たこれからの木造建築のあり方、 建築家三澤文子氏のリノベーションを知る。

◆ 基調講演

「いろいろな木造建築」

腰原幹雄氏：東京大学生産技術研究所教授

「木造建築病理学に基づく木造住宅の改修

～地域で活躍する住宅医の育成」

三澤文子氏：岐阜県立森林文化アカデミー客員教授

◆ 事例発表 ヘリテージ 及び リノベーション

・青森県建築士会女性委員会

・秋田県建築士会女性委員会

・山形県建築士会女性委員会

・福島県建築士会女性委員会

・宮城県建築士会女性委員会

・岩手県建築士会女性委員会

<三澤文子氏>

1956年静岡生まれ。1979年奈良女子大学理学部物理学科卒業、(株)現代計画研究所を経て1985年三澤康彦と共に大阪にてMs建築設計事務所設立。林産地と都市の住まい手とを結ぶ活動を木造住宅設計に取り込み、数多くの「木の家」を設計する。1995年、阪神淡路大震災を契機に被害調査活動とともに行った仲間と木構造住宅研究所を共同設立し、1996年よりMOKスクール(※)を開催し現在も継続中。各地の木造塾の立ち上げに協力するなど、この頃より木造教育にかかわる。

2001年～2009年岐阜県立森林文化アカデミー教授、その後客員教授。2011年～2014年京都造形芸術大学通信大学院教授。現在MSD主宰。◆著書に「木造住宅の可能性」、「住宅に空間力」、共著に「民家型構法の家」「最高の木造住宅をつくる方法」(エクスマレッジ2010)がある。◆2007年日本建築学会賞教育賞受賞、2013年日本建築士会連合会賞優秀賞(北沢建築工場)。



<腰原幹雄氏>

1968年千葉県生まれ。1992年東京大学建築学科を卒業後、同大学院に進学。構造設計集団<SDG>を経て2001年東京大学博士課程を修了◆構造設計：金沢エムビル、油津運河夢見橋、幕張メッセベデストリアンブリッジ、八幡浜市立日土小学校耐震改修、下馬の集合住宅など。◆著書に『都市木造のヴィジョンと技術』、『現代木造住宅ガイド』。共著に『学びやすい構造設計「木質構造の設計」』『2012木造住宅の耐震



診断と補強方法』、『日本木造遺産』。◆2010年土木学会デザイン最優秀賞(油津 堀川運河)。2012年日本建築学会賞(業績：戦後木造モダニズム建築としての八幡浜市立日土小学校の保存と持続的活用)。WMF ノール・モダニズム賞(世界のモダニズム建築の修復・保存活動の最たる例として、「八幡市立日土小学校」の修復・保存・再生に大きな役割を果たした建築家コンソーシアムの一員として)。目下、木構造の旗手として、NPO team Timberize 理事長として、全国を東奔西走の日々。

◆参加申込書 岩手県建築士会 FAX (019-654-5777)へ 100名になり次第締め切らせていただきます。

お名前：

連絡先(FAX または 電話)